

【農作業中の事故における救急統計について】

秋の農繁期を迎え、農作業中の事故防止を図るため、過去の農作業中の事故統計を分析しましたので公表します。

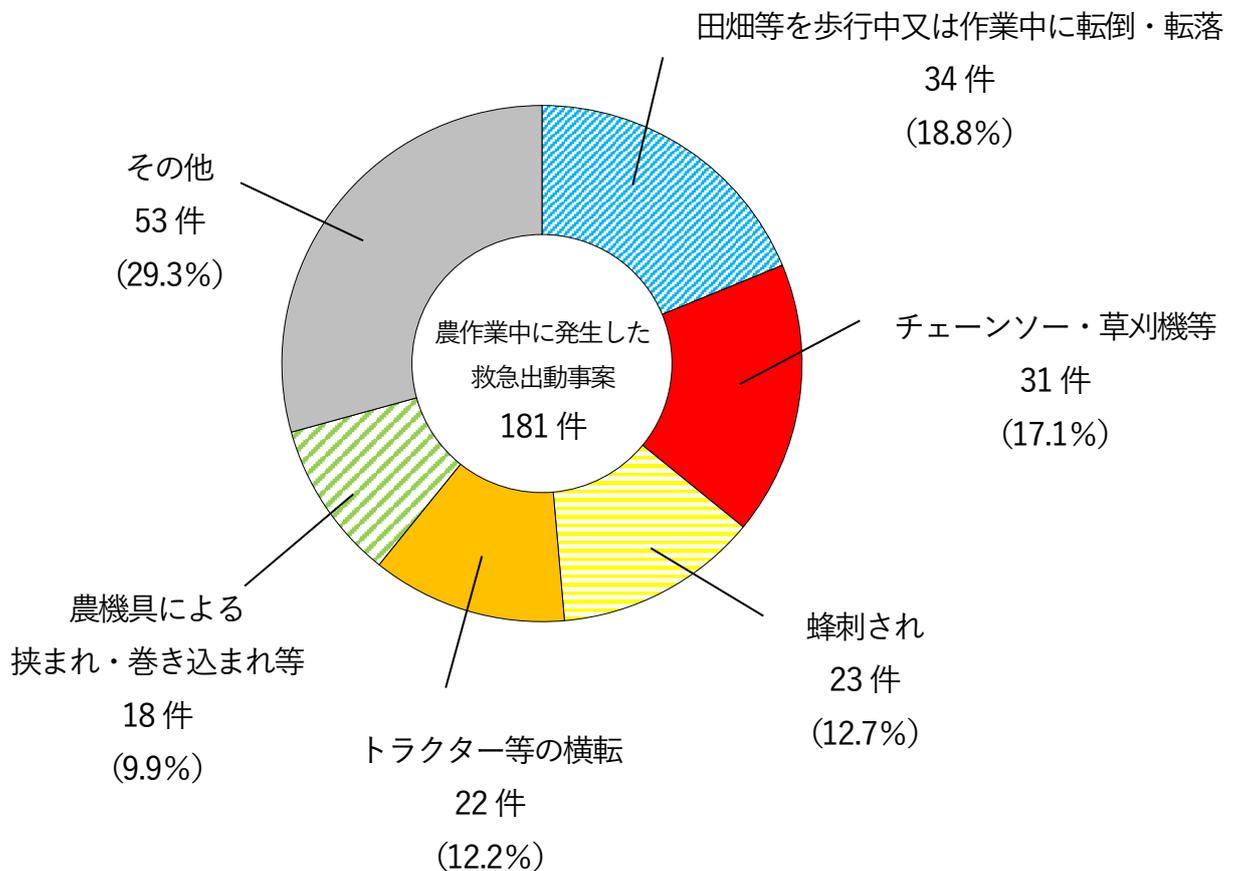
※ 救急統計として発生場所等が特定できる平成25年から令和元年までの、郡山地方広域消防組合消防本部管内において農作業中に発生した救急出動事案181件を分析

※ 小数点を含むものは、小数第二位を四捨五入した数値

※ 現場で医師により死亡診断がなされ、不搬送となった事案も含む

1 事故の分類別

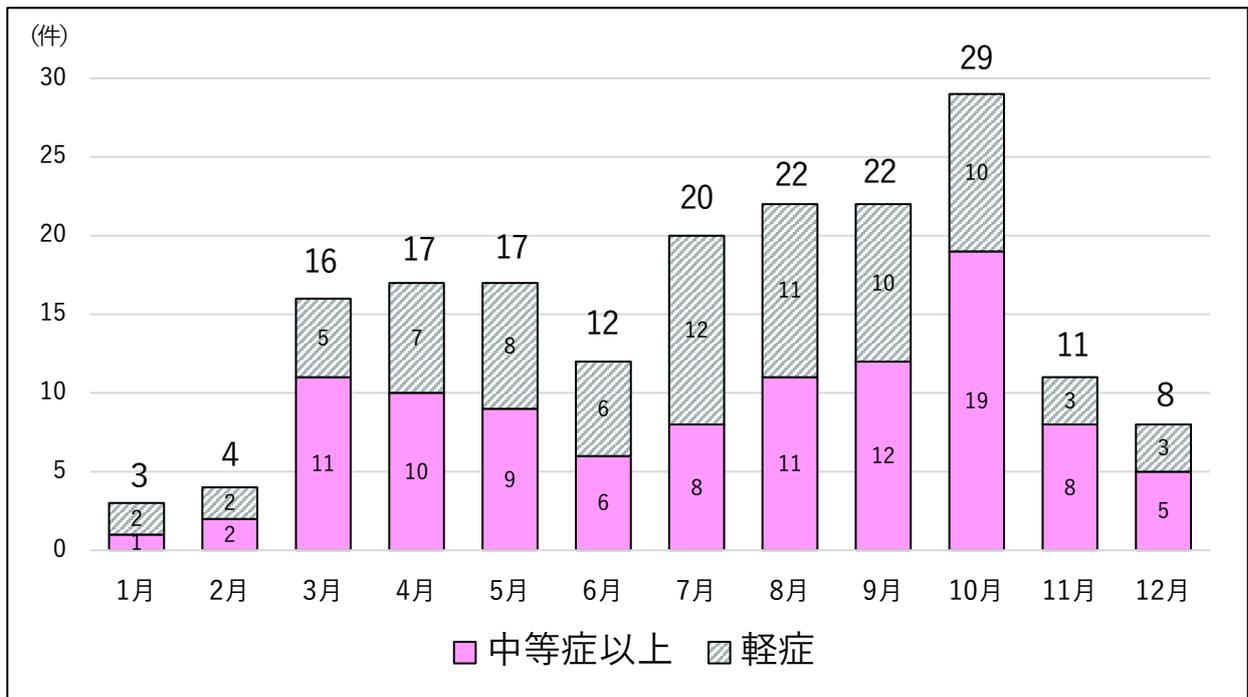
農作業中に発生した救急出動事案を分類別にみると、「田畑等を歩行中又は作業中に転倒・転落」が34件（18.8%）で最も多く、次いで「チェーンソー・草刈機等」が31件（17.1%）、「蜂刺され」が23件（12.7%）、「トラクター等の横転」が22件（12.2%）と続きます。



2 発生月別

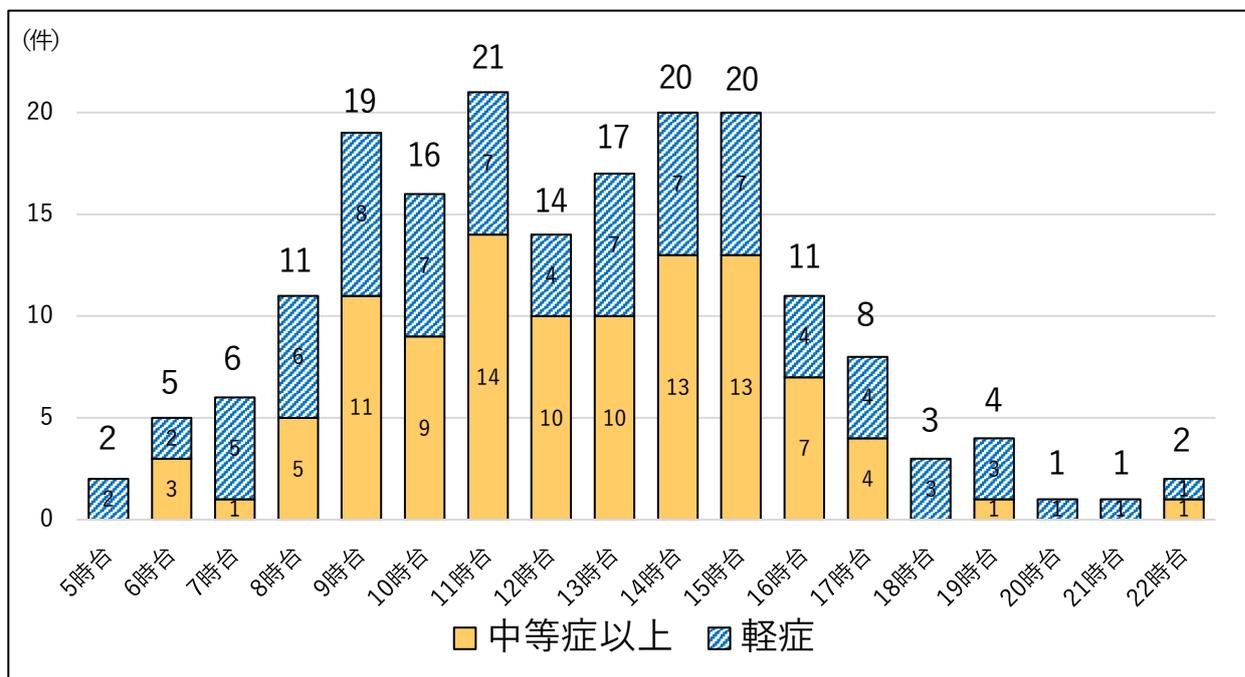
農作業中に発生した救急出動事案を発生月別にみると、「10月」が29件で最も多く、次いで「8月」と「9月」が22件、「7月」が20件と続きます。

また、これらの救急出動事案における中等症以上の件数でも「10月」が19件で最も多くなっています。



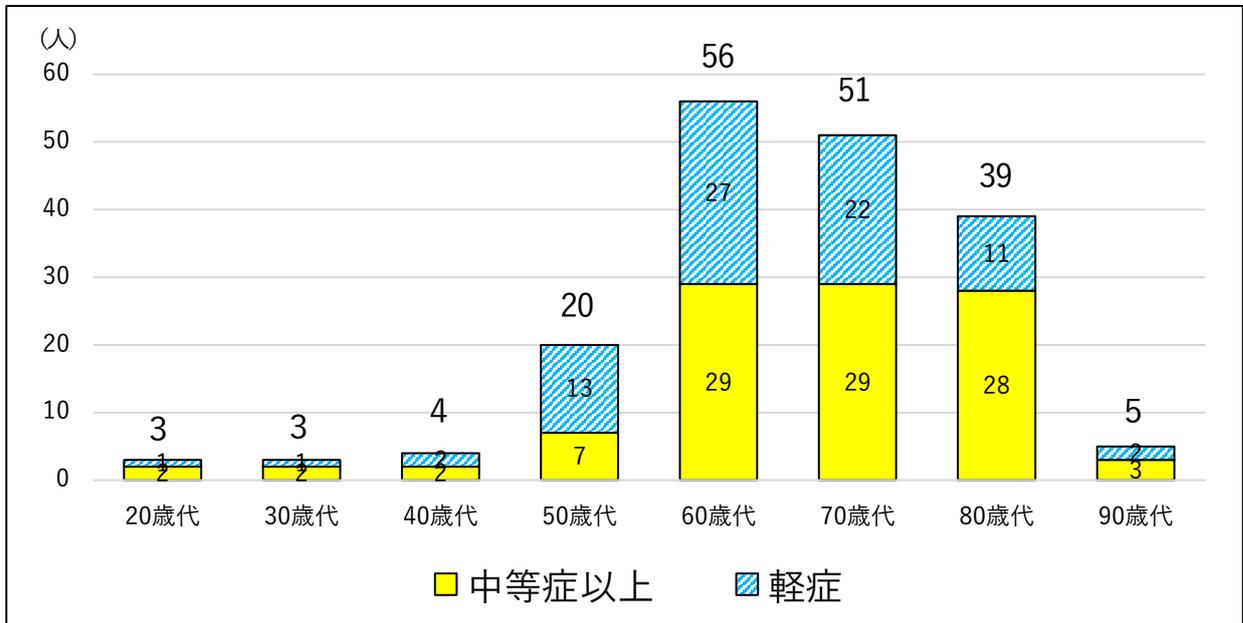
3 発生時間帯別

農作業中に発生した救急出動事案を発生時間帯別にみると、「11時台」が21件で最も多く、次いで「14時台」と「15時台」が20件、「9時台」が19件と続きます。



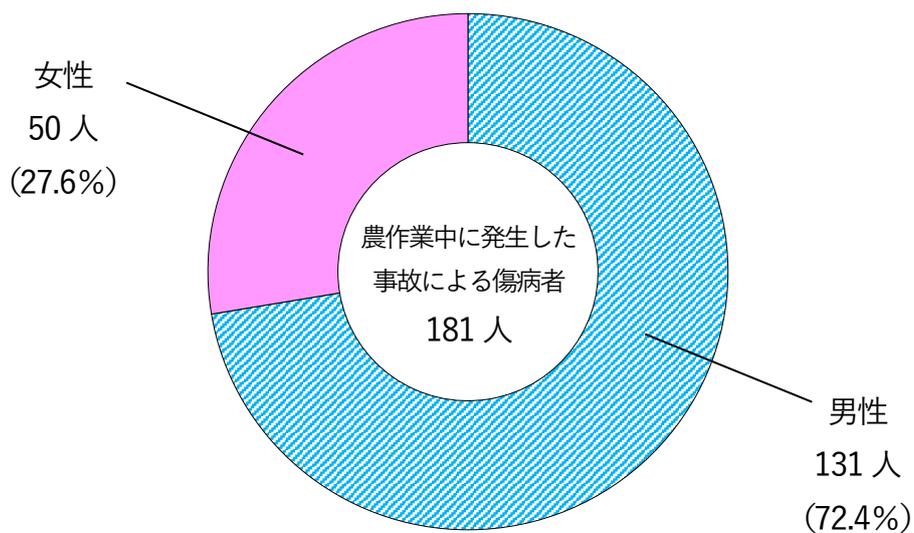
4 事故による傷病者の年代別

農作業中に発生した救急出動事案による傷病者を年代別にみると、「60歳代」が56人で最も多く、次いで「70歳代」が51人、「80歳代」が39人と続きます。



5 事故による傷病者の男女別

農作業中に発生した救急出動事案による傷病者を男女別にみると、「男性」が131人(72.4%)、「女性」が50人(27.6%)となっています。



6 事故による傷病者の傷病程度

農作業中に発生した救急出動事案による傷病者を傷病程度別にみると、「軽症」が79件（43.6%）で最も多く、次いで「中等症」が67件（37.0%）、「重症」が29件（16.0%）、「死亡」が6件（3.3%）と続きます。

全救急事案における傷病程度のグラフ（2019年）と比較すると、中等症以上の割合が46.7%から56.3%に9.6ポイント大きく、農作業中の事故による怪我は相対的に重症化しやすい傾向にあることが分かります。

